

「第三者評価に参加して～事業者からのコメント～」

みつばち保育園

保育園設立から七年間、自己評価を通して保育や運営について振り返りを行なってきましたが、初めて第三者評価事業に参加し、職員と評価基準に照らし合わせて見直しを行うことで、より一層、職員の保育に対する意識の高まりを感じることができました。

また、より細かい保育計画の見直しや、新たな課題の発見、保育園運営への理解に繋がる機会となりました。

子どもの発達援助については、3歳未満児の思いや要求を、表情やしぐさから汲み取り、人権を尊重する保育を職員一人一人が改めて意識するようになりました。

また、各種ガイドラインやマニュアル等の理解、それらを根拠に保育を行う必要性など、職員同士で話し合うことにも繋がっています。

地域の住民や関係機関との連携では、散歩や園外保育の帰り道でのゴミ拾い、市民センターへの園だよりの掲示依頼など、交流を深めるきっかけとなりました。

ホームページや園だより、インスタグラム等での情報発信、個別面談、見学やボランティアの受け入れだけでなく、今後は地域の子育て家庭を招いた行事を開催し、地域の方々にも「みんなのおうち」として認識されるよう取り組んでいきます。

今回いただいた評価に甘んじず、今後も子どもの気持ちに寄り添った保育、保護者の目線に立った保護者支援、地域での子育て家庭等に対する支援を丁寧に行い、小規模保育事業としての役割を果たしていきたいと思っております。